

視点をえてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考どうぞ。

○ぶつぶつやき○ ㊸

この白い蛾は、ウスキツバメエダシャクと言うらしい。もう一つの方は、ミノガの仲間的一种だと思う。昆虫のカモフラージュの技は、本当に面白いというか、すごいと思います。ミノムシの蓑は、葉っぱや小枝など自然素材そのものなので、木の枝にぶら下がってれば、目立たないことは確かだけど、このガの模様の巧みさ。前翅と後翅の模様が、その開き具合でピタッと繋がっていること。しかも、後翅の先に目玉模様があつて、無意識にそっちが頭だと思わせるという仕掛け。本気で一瞬、だまされました。

それにしても、この2匹、なんでコンクリートやタイルの壁なんかにくっついているの？
せつかくのカモフラージュの技が、台無しじゃないの！<さんじゃく>



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(南)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 78★

春日公園で、始まった秋を、ゆっくりと観察します。

☆日時 11月19日 (日) 集合14時～解散16時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

11/19（日） 12/17（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

11/26（日） 12/24（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

12/3（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

12/9（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

12/10（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

12/5（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会 主催

11/26（日）
膳施山公園（みやま市）
時 間：9:00～12:00
集 合：公園内すいせん橋
問合せ：090-7446-9047（野田達行）

11/19（日）
朝倉市 大平山・甘木公園
参加は有料 要予約
問合せ：092-662-2983（佃 昇）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

12/2（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
参加費：200 円（大人のみ）

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子



糸を回収して食べるジョロウグモ 三国・松永



クロアゲハ幼虫 ヤドリバエ卵付き 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

久留米の自然を守る会 主催

11/25（土）
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

11/25（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

第437回例会
直接お問合せください。
問合せ：090-1346-0460（橋田沙弓）
hashida@kurumenoshizen.net
<http://kurumenoshizen.net/>

2017年10月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、10月1日（旧暦8月12日）～10月31日（旧暦9月12日）までのデジカメ日誌です。



10月4日（旧暦8月15日）筑紫野市天拝坂
旧暦八月十五夜の月である。しかし、今年は左下がまだ満ち足りていない。月齢は13.9。天拝山の中秋の名月（満月）の祭りは7日に行われた。



10月9日（旧暦8月20日）福岡県朝倉郡東峰村小石原
通称、行者杉の父といわれる「大王杉」推定樹齢600年、樹高52m、幹回り8.29mの巨樹である。



10月10日（旧暦8月21日）筑紫野市諸田
稲刈りの終わった田んぼで休む渡り鳥二種である。左はアマサギ、右はチュウサギ。両種とも福岡県の準絶滅危惧種。田んぼと河川のあり方にこの命がかかっている。



10月13日（旧暦8月24日）福岡市中央区大濠公園
ボートハウス付近の他のスズメに交じっていた。首のあたりの白が他よりも多くなっている。部分白化らしい。



10月31日（旧暦9月12日）小郡市三沢
まだ元気に飛び回っているタテハモドキ。この付近に幼虫の食草タカノツメがあるのだろう。この冬は、成虫越冬を確かめてみよう。



10月31日（旧暦9月12日）筑紫野市天拝坂
冬鳥・ジョウビタキの季節がやってきた。初認は、♂を福岡市春吉で10/23、♀を天拝坂で10/26であった。

くすのき 2017年11月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

〔環境フェスティバルふくおか 2017〕 参加報告。福岡県自然観察指導員連絡協議会

福岡市役所西広場で 10/21 (土) 10/22 (日) の 2 日間 開催しました。1 日目は 11 時から 16 時まで、2 日目は台風 21 号の影響で、14 時までとなりました。テーマは、自然と遊ぼう 自然に学ぼう、自然の中にある木の実、種、葉っぱ、茎などを用いた遊びの紹介を行いました。

案内の協力者は延べ 11 名 (山本弘子・堀謙治・小野仁・鶴田義明・田村耕作他)、来場者は 317 名でした。

どんぐりの駒や笛、オナモミのダーツ、無患子 (ムクロジ) の石鹼効果と羽付の紹介、ヤナギタデによる「タデ食う虫も好き好き」の紹介、ヤシの葉でバツタ作り、飛ぶ種 (トウカエデなど) の紹介と折り紙の種飛ばし、カラスウリの種の紹介、山芋のムカゴや種の遊び、ウラジロのバツタ、カラスムギの種による遊び等々、テントのお店で来場者に楽しんでいただきました。

展示していたオレンジ色のカラスウリは、人気が高く貰われていきました。担当 田村耕作



お店の様子

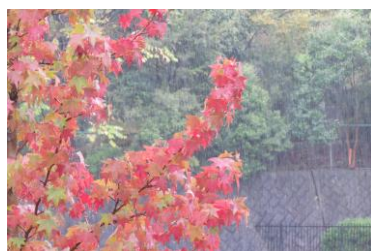


自然遊びの紹介人

春日公園の自然観察会 11 回は、大雨の影響で、担当者 1 名でした。

主催 福岡県自然観察指導員連絡協議会

10 月は週末に雨に会いました。10/15 (日) も雨、しかも本格的な雨でした。雨の中、春日公園の秋らしさを探して、歩きました。



紅葉したアメリカカフウ



ソメイヨシノの紅葉した葉



満開のヒイラギモクセイ



濡れた落ち葉を這うツクシマイマイ



たくさんのどんぐり (クヌギ)



ホテイアオイ、花が満開でした

会員からの便り

この写真の少し前、今年はキクイタダキ多いなアと思ってましたが…あちこちにいます。うちの前の松林はキクイタダキだらけ。そして…福間に越してきたばかりの兄夫妻のマンションベランダにご挨拶。5F です。福岡駅のすぐ近く…笑えます。写真は渋谷 10 月 24 日



珍しくオンドリがたくさん！宗像地区にいます。何時までいるかはわかりませんが11/4、90羽です。
見応えあります。写真は渋田朗 11/4

★ 渋田 和美



宍越しの自然観察 ② ～ 自然の力 人の力 ～

秋らしい空も殆ど見ないまゝ、いつの間にかモズやジョウビタキの声が、冬に向っているよと教えてくれ、色付き始めた実にやっと目が向くようになりました。

オトコヨウゾメ

サンシュユ

クチナシ



七月、ダム奥への道路が寸断され、通行止めが続いていましたが、孤立していた地区に、八月半ばヤツとなんとかボランティアが入れるようになりました。どこを見ても、何故このような???と頭をひねる現象が、あちこちに見られます。地元の方でも見た事がないという巨木の根が稲田の真ん中に、まるで、巨大な隕石が降って来た様にドカンと。勿論、稲の根元は土砂や木片で覆われていますが、この大きさの物体が転がって来た形跡はありません。ボランティアで来られた方々の共通の印象は、何故???と考えてしまう状況ばかり、と。予測不能な自然の力。

(ダムサイト住人 2017/11/4 記)



「20年越しにびっくり」

唐突ですが、右の写真を見て、皆さんは何だと思われましたか？もちろん、ご存知の方も多いことと思います。

私が初めて目にしたのは20年ほど前の山の中でした。植物の先生と歩いていた際に「これはツチトリモチだよ」と教えて頂きました。その後も、比較的自然度の高い山中で時々見かける機会がありました。見た目の可愛さに親しみを覚えたり、漢字で書くと土鳥糞と表されるように、古くから鳥や昆虫を捕えるのに使われた粘着物の原料に使われ



